

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

<p>事業番号 D-20-1</p> <p>事業名 白石市復興・防災まちづくり計画策定事業</p>
<p>事業費 総額（執行額）：26,175,450円（国費：19,631,000円）</p>
<p>事業期間 平成24年度～平成25年度</p>
<p>事業目的・事業地区</p> <p>震災の経験を踏まえた防災機能及び体制の充実強化等、防災・減災の視点から復興に向けたまちづくりのあり方・安心して生活できるまちづくりのあり方を検討したもの（事業地区：市内全域）</p>
<p>事業結果</p> <p>各地区において被災状況の検証等が進むとともに、各地区で開催されたワークショップが自主防災組織設立へと結びつくなど地域活力の回復に繋がった。また、防災まちづくりのあり方を検証できた。</p> <p>(1) 防災基礎アセスメント調査</p> <p>(2) 地区別カルテ作成（市内10地区）</p> <p>(3) 避難計画・避難所・緊急避難経路見直し</p> <p>(4) 災害対応における課題調査</p> <p>(5) 災害時初動の課題整理</p> <p>(6) 復興防災まちづくり計画策定アンケートの実施 対象：指定避難所及び一時避難所に避難した訓練参加者</p> <p>(7) 地区別ワークショップの開催 市内8地区（大鷹沢地区除く）で100自治会を対象に、計17回開催</p>
<p>事業の実績に関する評価</p> <p>① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価 震災の検証と過去に発生した災害等の調査・分析を基にワークショップ等を開催した結果、市民の防災意識の高揚が図られたとともに、地区別防災カルテ等を作成するなど、地区別に災害関連情報を整理したことから、市民・防災関係機関・市の三者協働体制により、防災のまちづくりを進めていくこととなった。また、策定した復興・防災まちづくり計画により、地区別毎にワークショップを開催し、防災カルテや避難計画を作成するなど防災対策の強化が図られている。</p> <p>② コストに関する調査・分析・評価 入札により業務委託契約を締結しており、適切なものとする。</p> <p>③ 事業手法に関する調査・分析・評価 事業完了：平成26年3月 本計画については、全地区によるワークショップやアンケートを開催し、市民の意向を反映したものとなっていること、過去に発生した災害等の調査・分析を踏まえ、地域の特色をとらえた地区別の防災カルテや避難計画を作成していることから、事業手法は適切なものとする。</p>
<p>事業担当部局</p> <p>白石市総務部危機管理課 電話番号：0224-22-1452</p>